

TSUNAGARI Magazine

Kizuna

金沢星稜大学同窓会誌

2026/8
Vol.36



金沢星稜大学第12代学長に 永坂正夫氏が就任

2026年度理事会・懇親会 開催報告
富山県支部活動報告
秋の交流祭開催

活躍する同窓生

山邊 浩二郎さん(経済学部経営学科44期生)
今村 慎一郎さん(経済学部2部24期生)
木村 夏樹さん(人間科学部スポーツ学科3期生)

金沢星稜大学同窓会 青年部結成

青年部 代表 庄田 佑斗さん(経済学部経済学科46期生)

きずなコネクト

若手卒業生交流祭 ホシバル

表紙写真／山邊浩二郎さん(経済学部経営学科44期生)

「失敗しても大丈夫」と思えるチャレンジし続ける人に

4月、金沢星稜大学第12代学長に永坂正夫氏が就任しました。永坂学長に学生に期待することや大学の役割、同窓生へのメッセージなどをうかがいました。

—まず就任されてからの感想をお聞かせください。

学生や教員、職員などたくさんのクルーと一緒に大きな船に乗っているような感じがしています。みんなで同じ方向に向かって進んでいくためには、やはり一人ひとりが自分は何をすべきなのか、常に考え、行動していくことが大切だと実感しています。

同窓生は、すでに2万4千人いるので、県内のあちこちで遭遇する機会があり、同窓生の頑張っている姿を近くで見られることを大変嬉しく思っております。

—長年、金沢星稜大学で教員を務めてこられ、学生の特徴や期待することを教えてください。

金沢星稜大学の学生は、とても真面目で誠実な人が多いです。一方で、冒険することが苦手な学生が多い印象があります。留学や短期留学を経験した学生は、新しいことにどんどんチャレンジしていくので、目に見えるカタチで大きな変化があります。私も学生時代に留学しておけばよかったと思うほど一人ひとりが本当に逞しくなって帰ってきます。ただコロナ禍以降、金沢星稜大学に限ったことではありませんが、少し内向き志向が強くなっているのは残念です。学生には、エリア・スタディーズという教員が同行する短期体験プログラムや海外旅行でもいいので、一度、外に出て自分でいろいろ感じてほしいと思っています。その経験は、必ず次のチャレンジに役立ちます。



金沢星稜大学 学長 永坂 正夫 氏

(ながさかまさお) 1967年愛知県名古屋市生まれ。2005年金沢大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了。博士(理学)。専門は陸水生態学。1994年金沢経済大学に助手として勤務し、2011年に金沢星稜大学人間科学部教授、18年から副学長を経て、26年4月より現職。趣味は家庭菜園(バジルやゴーヤなどを栽培)。「学長コラム」を大学WEBで公開中。

—大学としてどんな学生を育てたいですか。

世界の変化が激しい時代の中でも、「生き抜いていく力を身につけてほしい」と思っています。金沢星稜大学では「自分を超越する力をつける」を合言葉に専門教育を展開しており、卒業後も課題と向き合い、学び続ける人を育てたいと考えております。そのためには、「失敗しても大丈夫」という経験を大学時代にたくさんしてほしいです。前に進もうと自分でトライすること、チャレンジすることの大切さを大学としてしっかりサポート、応援していくことが私たちの役割でもあると思っております。

—生態学や環境学などを研究してこられて、感じていることはありますか。

人間のお母さんは、公園で初めて出会った高齢者にも自分の赤ちゃんを抱っこさせたりします。このように他者を信頼することができるのは、生物の中で人間だけが備えている力です。学生時代は時間もあるので、勉強だけでなく、部活動やサークル活動などいろいろなことに仲間と一緒に全力で取り組むことができます。たくさんの共有体験をする中で、深い絆や信頼関係を築いてほしいと思っています。

—最後に同窓生にメッセージをお願いします。

皆さんが胸を張って母校と言える大学となるようにこれからもチャレンジを続けて参りますので、引き続き在学生と大学を応援してください。

2026年度 理事会・懇親会が開催されました

日時／2026年6月27日(土) 17時～
場所／ホテル金沢

理事会では、次の議案について審議・承認されました。

議案

1. 2025 年度事業報告・決算報告
2. 2025 年度監査報告
3. 2026 年度事業（案）・新規事業・予算（案）
4. 新常任理事・新理事発表
5. 「慶弔金」規定改訂（案）

報告事項

1. 会長選挙結果報告
2. 学生褒章者リスト報告
3. ぎずな connect 運用状況報告



理事会終了後、懇親会が開催されました。上野会長のあいさつの後、来賓あいさつとして、梶見理事長、永坂学長からお言葉を頂戴しました。

小嶋同窓会相談役の乾杯の御発声を合図に、大学の先生方や同窓生との親睦が深まり、なごやかな懇親会となりました。



富山県支部活動報告

2025 年（令和 7 年）12 月 6 日（土）富山県射水市松原屋にて講演会・懇親会を開催しました。

今回は学校法人稲置学園理事長の梶見由美子先生に「明治期以降の日本のルーツについて一民法を中心として」について講演いただきました。まず、民法が夫婦・親子といった身分関係だけでなく人や法人の権利帰属、取引関係、紛争の法的処理全般を規律する法律であることが説明され、日常生活の取引（電気・水道・ガスの利用など）や交通事故・医療過誤・環境問題における紛争処理といった具体例を挙げつつ、相続紛争では遺産分割に関する条文が特に紛争の対象になりやすい旨が示されました。さらに、日本民法の成立過程を理解するためにフランス民法とドイツ民法の歴史的背景や影響についても解説があったので、受講者は民法の役割とその歴史的起源を両面から把握できました。講演後は梶見先生を囲んで同窓生の親睦を深める宴が催され、参加者同士の交流が図られました。



秋の交流祭開催

2025 年（令和 7 年）10 月 25 日（土）ホテル金沢 5F アブローズにおいて約 6 年ぶりとなる同窓生秋の交流祭を開催しました。当日は同窓生約 50 名が集まり、しばしの歓談後、ゲストとして中本美智子氏率いるジャズライブで秋の夜を楽しみ、その後豪華抽選会で会場は盛り上がりしました。

久しぶりの旧友との再会や、新しい出会いなどを通して有意義な時間を過ごしました。また次回開催を計画したいと思いますので、同窓生の皆様のご参加をお待ちしています。ご案内はぎずなコネクトで告知しますので今すぐご登録を！





インフルエンサー べこりい

(本名・山邊 浩二郎)

経済学部経営学科 44 期生

北陸のおでかけスポットや飲食店などを紹介するショート動画がSNSで話題となっています。フォロワー数は8.1万人を超え、北陸ナンバー1インフルエンサーとなったべこりいさんに仕事や学生時代の思い出、これからの夢などについてうかがいました。

ーイベントやテレビなどにも出演され、お忙しいですね。

ありがとうございます。SNSでショート動画の投稿を始めて3年ぐらいになりますが、最初の半年ぐらいはこれだけで生活していけるのか、不安で眠れない夜が続きました。1年ぐらい前からタレントや他のインフルエンサー、企業、自治体などとコラボした動画も配信するとフォロワー数がぐっと増えて、今ではサラリーマン時代より多くの収入が得られるようになりました。ー学生時代はどのように過ごされていたか。

卒業に必要な単位は要領よく早めに取得し、空いた時間は遊びに費やしていました。1年で辞めてしまいましたが、バドミントン部に所属し、男女のペアで戦うミックスダブルスで、先輩のおかげもあって北信越大会で優勝できたのはいい思い出です。とはいえ、一番の思い出は就活ですね。落ちた会社もありましたが、みんながいきいきと働いていた第1志望の不動産会社から内定をもらった時は、努力が報われてほっとしました。

ーSNSを始めたきっかけは？

大学卒業後に入社した不動産会社では、5年間お世話になり、社会人としての基本や不動産のことを学び、仕事の楽しさやチームワークの大切さも教えていただきました。それでも「一度きりの人生なので、留学をしたい」と思って退職し、貯金を使ってフィリピンに2カ月とオーストラリアに8カ月留学しました。本当はもっと留学を続けたかったのですが、コロナ禍で帰国を余儀なくされました。再度、不動産会社で働き始め、今度はカナダに留学するつもりでした。カナダの留學生活の様子をSNSで発信する予定だったので、とりあえず練習のつもりで海外留学に関する情報を1カ月ぐらいアップしてみたの

ですが、反応がいまいちでした。そこで、試しに地元・石川県のスポット情報をTikTokにアップしたらいきなりバズり、いいねもたくさん来て、1本目から手応えを感じました。何よりダイレクトに自分の思いを伝えられ、すぐ反応が返ってくるのが楽しく、会社も退職し、留学のためにじずも取得していたのですが、こっちに全力で取り組むことにしました。

ー苦労も多かったのではないですか。

始めた時は先駆者があまりいなかったもので、いろいろと手探りでした。心がけてきたのは、見る人も、取り上げる場所や人も、自分もみんながWIN・WIN・WINの関係になることです。まず自分がいいと思っていないものは取り上げないですし、お店やスポットには事前に許可を取って先方の思いも確認しています。あと、取り上げる情報を北陸エリアに絞ることは、少し悩みましたが、まだまだ伝え切れていない富山や福井の魅力的なところがたくさんあるので、結果的によかったと思っています。ー動画1本1本にべこりいさんの思いが詰まっていますね。

ありがとうございます。他のインフルエンサーの方は、大体10秒台が多いのですが、自分の動画は20～30秒ぐらいあります。それでも飽きずに見てもらえるように、一番の魅力を大きく打ち出し、テロップや音楽、ストーリー展開などにもこだわり、細かいところまでよく分かるのが強みだと思っています。

おかげさまでInstagramやTikTokが評判となり、お店や企業、自治体などから動画の制作依頼も増えて、昨年株式会社Booom Japan(金沢市)という会社を設立しました。SNSをお手伝いしたスナックのママから「1カ月で100万円ぐらい売上が上がった」と言われ、結果が出て嬉しかったです。

ー最後にこれからの夢は

ありますか。

石川県の観光大使になりたいです。そして、いつか同じ石川県出身の浜辺美波さんと一緒に仕事してみたいと思っています(笑)。これからも現状に満足せず、圧倒的な一番を目指してやっていきたいです。



Instagram
はこちら



ハンドルネームの「べこりい」は、本名の山邊の「べ」と浩二郎の「こ」から友人が付けてくれたニックネームがもたっています。石川県かほく市出身。趣味は旅行と食べ歩き。現在、34歳で彼女募集中

すべての始まりは、ニューヨークの一人旅



株式会社 CHELSEA New York
代表取締役社長

今村 慎一郎

経済学部 2 部 24 期生

北海道から沖縄までショッピングモールに出店し、国内外の生活雑貨からインテリア雑貨、アクセサリーなどハイセンスな品揃えが話題のCHELSEA New York。急成長を続けるCHELSEA New Yorkの立ち上げから名前の由来、今後の目標などをうかがいました。

一起業のきっかけから聞かせてください。

大学卒業後、昼間に働いて貯めていたお金とバイクを売って手にした30万円だけ持ってニューヨークに放浪の一人旅に出ました。英語は全然話せず、当時スマホもなかったのに、ハンバーガーショップでメニュー表を見ながら注文したのに、種類の違うハンバーガーが違う数で出てくるほどひどい英語力でした(笑)。不安で泣きながらハンバーガーを食べたことを今も覚えています。それでも、ニューヨークの街を歩けば、不安も吹き飛ばすほど感動と衝撃の連続でした。まず1区画に1つストアがあり、そこで生花を売っていて、素敵な暮らし方がこの地に根付いていることに感動しました。さらに雑貨店で可愛い歯ブラシを見つけ、自分も暮らしを楽しく、みんなを笑顔にする雑貨を日本で扱ってみたいと思うようになりました。

ニューヨークの中でもとりわけチェルシーという地域が自分の大好きな場所となりました。石川県でいえば、歴史と文化があり、トレンドの発信地ともなっている金沢のようなところで、会社の名前の由来にもなっています。

一帰国後、見事夢を実現されましたね。

まず金沢の雑貨店で修業し、地元の七尾に戻ってお金を貯めるためにがむしゃらに働きました。24歳で独立し、アパート1階の一角に14.7坪の小さな雑貨店をオープンしました。結婚式の引出物も扱っていたので、1999年の大予言に影響を受けたノストラダムス婚や2000年のミレニアム婚などの結婚ブームがあり、起業後の業績は順調でした。

金沢のロードサイドに約80坪の店舗を出すと、週末は駐車待ちの車が列をなすほど多くのお客様に来店いただき、地域での認知度も上がっていききました。福井県のショッピングモ-

ールに出店した際には、家賃が高くて、広告費が要らず、スタッフが一人でも防犯上も安心といった様々なメリットがあることを勉強させてもらいました。

ーイオンモールにたくさん出店されていますが、きっかけは？

集客力が魅力的だったので他の大型ショッピングセンターへの事業展開を考え、交渉していたものの、出店直前で破談となってしまいました。そのタイミングでお声をかけていただいたのが、イオングループ傘下になった金沢フォーラスへの出店でした。当初は5階フロアへの出店を勧められたものの、プレゼン資料を作成して粘り強く交渉し、ハイブランドの多い2階のレディースフロアに出店することに。誰でも気軽に入りやすい雑貨店づくりにこだわってきたので、イオンの幹部も驚くほど全国のテナントを圧倒するナンバー1の来店客数を記録しました。この成功がその後のイオンモールでの出店ラッシュにつながっていききました。

ーコロナ禍では大変な思いをされたそうですね。

うちはショッピングモールが休めば、売上もそのまま100%ダウンでした。自分ではどうすることもできず、「こんな理不尽な理由で会社が潰れるかもしれない」と家族の前で初めて泣きました。イオン側のサポートもあって、何とか苦しい1年半を乗り越えられました。

ー会社の規模が大きくなると社員教育も大変ではないですか。

スタッフには「何事も70点でいいよ」と伝えています。トークの中でもいろいろな引き出しがあれば、仕事や遊びなど人生のチャンスも広がっていくように思っています。

ー最後に今後の目標を教えてください。

起業した時に10年100店舗、年商100億円を目指してきました。今は106店舗で年商118億円(グループ全体)なので、これから5年で200店舗、年商150億円を目指したいと思っています。



イオンモール白山2階にある「CHELSEA New York白山店」



◀ CHELSEA New Yorkの詳細はこちら

大好きなまちと人をつなぐ存在でありたい



射水ケーブルネットワーク株式会社
アナウンサー

木村 夏樹

人間科学部スポーツ学科 3 期生

わり、一人ひとりの想いや魅力を丁寧に伝える番組づくりを心掛けています。

また、日本ケーブルテレビ連盟のコンテンツ委員会委員として、全国のケーブルテレビ局と連携しながら、より良いコンテンツづくりや地域メディアの発展に向けた活動にも取り組んでいます。

プライベートでは、8歳と6歳の娘を育てる母でもあります。仕事と子育てに慌ただしい毎日ですが、どちらも私らしく楽しみながら過ごしています。

—今の仕事を志望された理由やきっかけがあれば教えてください。

小さい頃からテレビが大好きで、画面の向こうに広がる世界にいつもワクワクしつつ、漠然と憧れるようになりました。

高校・大学時代は、野球部のマネージャーとして、多くの選手たちの努力や挑戦を間近で見してきました。試合では場内アナウンスも担当し、「頑張る人たちの姿を自分の言葉で伝えたい」という思いが、今の仕事につながっているように思います。

就職活動では、自分が生まれ育った地域をもっと知り、その魅力を自分自身の言葉で発信したいと考え、現在の道を選びました。

—仕事のどんなところにやりがいや魅力を感じていますか。

この仕事の一番の魅力は、人との出会いです。取材を通してさまざまな方の人生や仕事への思いに触れ、その魅力を番組として届けられることにやりがいを感じています。

—大学卒業後、どんな仕事をされていますか。

現在、地元のケーブルテレビ局で、アナウンサー兼ディレクターとして勤務しています。スポーツや祭りの中継などへの出演をはじめ、ディレクターとしては主に地域で活躍する人々に焦点を当てたドキュメンタリー番組を制作しています。企画立案から取材、撮影、原稿作成、編集、ナレーションまで一貫して携

また、番組をきっかけに地域の魅力が多くの方に伝わったり、新たなつながりや挑戦が生まれたりする姿を見ると、自分が生まれ育ったまちに少しでも貢献でき

ているのかなと感じ、とても嬉しくなります。これからも、人と人、地域と人をつなぐ存在でありたいと思っています。



夏の高校野球富山大会では、試合のディレクターを務めたり、スタンドからレポートしたりすることも

—大学時代を振り返り、思い出に残っていることや、今の仕事に役立っていることがあれば教えてください。

大学時代は硬式野球部のマネージャーを務め、全国各地への遠征や全国大会の運営にも携わりました。東京ドームや神宮球場で試合運営や場内アナウンスを担当したことや、全国の大学のマネージャーとのつながりができたことは、今でも大切な思い出です。

卒業論文では全国の野球部マネージャーにインタビューを行いました。振り返ると、取材をして、その人の想いや魅力を言葉にするというスタイルは、今の仕事とあまり変わっていません(笑)。

また、大学4年時に北陸朝日放送(金沢市)で学生リポーターを経験し、「テレビの仕事に就きたい」という思いが強くなりました。ゼミの田島(良輝)先生にはその夢を応援していただき、「20年後、自分がどうなっていたいか考えてみて」という言葉は、今でも仕事や人生を考える上で大切な指針になっています。

—最後にこれからの目標や夢を教えてください。

これからも、人や地域の魅力を丁寧に伝え、「このまちっていいな」と思ってもらえるような仕事を続けていきたいです。

最近では、地域の景観やまちづくりについて考える「射水市内川情景条例等検討委員会」の委員も務めることになりました。日本ケーブルテレビ連盟での活動も含め、映像だけでなくさまざまな形で地域に貢献していけたらと思っています。

仕事も子育ても、どちらも大切にしながら、大好きな地域に関わる仕事ができていることを幸せに感じています。これからも一つひとつの出会いを大切に歩んでいきたいです。



📌 インスタグラムで活動を報告しています

ゆるい感じのつながりで毎日をもっと楽しく!!

金沢星稜大学同窓会 青年部 代表 庄田 佑斗 (経済学部経済学科 46 期生)

2026年4月、金沢星稜大学同窓会に青年部が結成されました。庄田佑斗代表に青年部の結成に込めた思いや活動内容などについて語っていただきました。

大学同窓会ならば初対面でもトークが弾む

大学の同窓会は、中学・高校の同窓会と違って、ただ単に懐かしい気分に浸り、楽しかった思い出を共有することだけが目的ではありません。日々の暮らしの中では、どうしても仕事や家事などに時間が追われ、偶然の出会いや新しい体験の機会が少なくなってきました。とはいえ、いろいろと物騒なニュースも多い中、新しい環境を求めて、未知のものに手を出すことは不安で、ハードルも高いと思います。けれど大学の同窓生ならば、初対面の人でも、学部・学科のことや所属していたゼミ・部活動・サークルのこと、印象に残っている先生のことなどを気軽に聞けたり、ある程度安心感を持ってお互いのことを知ることができます。

タイパやコスパが重視される世の中ですが、やはり人のつながりほど大切なものはありません。今の時代に合ったカタチで、まず安心感があり、加えて新しい発見と好奇心を満たすことができる、ゆるくつながれる場(コミュニティ)が必要だと考えています。

大学の同窓会とつながりを持つことで、同窓生がさまざまな分野で活躍していることや新しいことにチャレンジしていることなどが分かるので、きっと皆さんも「後輩が頑張っているなら自分もやってみるか」「大変なのは自分だけじゃない」などいろいろな気づきや刺激があるはずです。また、普段だったらちょっと諦めてしまっていることも、同窓生コ

ミュニティの中ならば、安心して自分のやりたいことを話したり、試したりできるのも同窓会組織ならではのメリットだと思っています。

大学のさらなる発展には若い同窓生の力が不可欠

まずは20代・30代の若い同窓生を対象にSNSを使って、ゆるい感じの交流や情報発信ができるコミュニティの設立やイベントの開催などを通して、さまざまなバックグラウンドを持つ同窓生と心と心のつながりを感じるネットワークを築いていきたいと思っています。普段、自分が働いている会社では、なかなか経験できない体験をしたり、スキルを身につけたり、気持ちが少しでも前向きになる情報交換ができる場になればと思っています。このような思いに共感いただける方は、ぜひイベントにご参加いただき、一緒に活動していきましょう。皆様からのご連絡を心よりお待ちしております。



庄田さん(後列右から2番目)

お問い合わせ

青年部に期待することや、同窓会でやってほしいことなどこちら(info@kizuna-salon.com)までお気軽にメールでお願いします。



デジタルでつながる
きずな
connect
金沢星稜大学同窓会
コネクト



ご登録は
こちらから



同窓会から卒業生のための
各種イベント・ご案内をお送りしています。

金沢星稜大学 同窓会
20代～30代のみなさまへ

若手卒業生
交流祭
開催!

集まろう、つながろう、星稜で。

ホシバル

＝ HOSHI-BAR ＝

「星稜(HOSHI)」×「バル(BAR)」
母校のアイデンティティーを掲げ、
若手世代が気負わず参加できる
“開かれた交流”を目指します。

日時 2026年 9月 19日(土)
18:30 開宴(予定)

会場 アパホテル金沢駅前 1F
ラ・ベランダ (La Veranda)
※詳細は後日ご案内します。

会費 ￥ 3,000円

内容 飲み放題コース
その他余興・交流企画

久しぶりに会える!
新しいつながりが生まれる!
気軽に楽しめる同窓会!

司会

高島菜那さん
(卒業生)

明るく親しみやすいトークで、
会場を盛り上げます!
素敵な出会いのきっかけを
一緒に作りましょう!

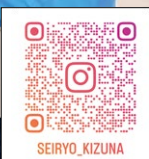
スペシャルゲスト

べこりいさん
(卒業生)

北陸を中心に活躍する
人気インフルエンサー!
この日だけのスペシャルな
トークをお届けします!

参加申込はこちらから!

下記QRコードを読み取ってお申し込みください



金沢星稜大学 同窓会 青年部